疾病白書

31年度の国保事業に見る

市の保険課では国民健康保険事業における昭和三十一年度の疾病白書を作成しました。

この白書は、一中、五中生徒の協力を得て作られたものですが、県下でも例のない別表左上のような疾病別受診件数と医療給付、別の受診件数と医療給付、費の比較表がまとまりました。

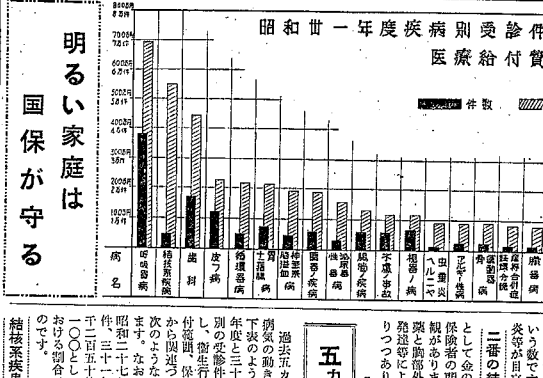
これによりますと昭和三十一年度受診件数十三万一千二百五十件、医療給付費三千九百五十八万五千百四円とそれぞれ、ふえて来ています。

これはあなた方一世帯当りにして三十年度は四万円、三十一年度では八百九十一円と年々上昇の一途をたどり、医療給付費は決して楽観出来ない状態であります。

これは市の対策や皆さんの心がけ次第ではまだまだ予防出来る面もあると考えられます。

以下関係について説明を加えて見ます。

明るい家庭は国保が守る



受診13万件、給付3,900万円

給付費は年々上昇
頭痛のタネは結核
予防と早期発見が大切

一番の呼吸器病は他病に比べると件数、金額が非常に多いのが目立つ。

この中には感冒、肺炎、鼻咽頭、扁桃腺炎等がふくまれていますので、簡単に言えば、三十一年の春に大流行した流感の影響が本紙に度々出ている通り、死亡者も四十八人と、三十一年の春に小児急性肺炎等が目立っています。

二番の結核系は依然として金のかかる病気で保険者の頭痛の種といわれています。それに肺腫と胸部外科手術の普及発達等により死亡数は減りつつありますが、疾病中に一番入院出費の多いこと等が支払額を高くする原因ともなっています。しかし結核は早期発見により入院、手術等をしなくても済むものです。

今年度の診断でも直ちに医療を要する症状の方が約百六十人も発見されています。

四番の皮ふ病にはヒゼンダニ及び伝染性皮膚炎等が多いが外傷処置の不良に起因することも多いので注意を要します。

五番の循環器系の疾病死亡順位は第三位で死亡率は高いが、この中に心臓金殺の病気がふくまれています。特に高血圧症は病因がはっきりせず予防治療共にむつかしいといわれ、しかも特効薬が殆なく使用されている状況は凹に高価で長期を要する多く給付額も多くなっています。

六番の胃及び十二指腸は、漢方の手術等で入院を要する場合が多く給付額も多くなっています。

七番の腸盲腸　神経系の疾病は死亡順位一位（八年七十三人）を占め、昨年の金調査でも第一位の保険課の調査では、この欄に総合病院で、この欄に総合病院の金高は実に金市保険料の一カ月分に近い額で交通機関等の発達に伴い恭々各人の社殺が要望されます。

八番の腸管の疾病は死亡率は第五位で多い方で、これは「腸ヘイタツ」「腸ネンテン」などのように、夜間などの発病が多く、幼児の遺棄を失い、取りかいしのつかぬ結果を招くことが然多く、また、特に知識急救法等の教育の必要が痛感されます。

九番の性器　泌尿器の疾病には腎臓障害、卵巣機能不全、腎臓炎等があり、いずれも金のかかる病気ばかりで件数の割に給付額が多い。なおこの中には性病も数件ふくまれています。

十番の腸管の疾病は死亡率は近年と共に多く、また、入院を伴うため件数の割に金高が高くなっています。

十一番の不虚の事故及び十五番の骨及び運動器の疾患は、漁獲の手術等で入院を要する場合が多く給付額も多くなっています。

十二番の肝臓　其他癌腫瘍をふくむが、御網は神に注目に値するもので、いずれも不注意に起因するものが多く、最近の「癌」は予防法が発見されたため、大腸炎、腸炎等のように水に関した疾病が激減しつつあることは統計であきらかであります。

十三番の視覚器の疾病は、眼、鼻、耳、咽喉、歯、皮ふ、骨、筋肉等があり、いずれもむつかしい金かかる疾患であると思います。

十四番の精神病は近年と共に多く、また、文化病の視があり、また、入院を伴うため件数の割に金高が高くなっています。

十五番の癌病　其他癌腫瘍をふくむが、御網は神に注目に値するもので、いずれも不注意に起因するものが多く、最近の「癌」は予防法が発見されたため、大腸炎、腸炎等のように水に関した疾病が激減しつつあることは統計であきらかであります。

十六番の精神病　入院等を伴なわぬため治療費を要しておりません。

十七番の臓器の疾病は、肝臓、胆石症等があり、いずれもむつかしい金かかる疾患であると思います。

十八番の其他　神経系の疾病は死亡順位一位（八年七十三人）を占め、昨年七十三人を占め、昨年七十三人を占め、昨年の金調査でも第一位で世間並みという観があります。

これは、循環器の高血圧と分離されています。

二十二番の其の他　はお石の割合で高額要等の発生は、いずれもないものであり、老衰や早産による発育異常などの原因は、はっきりしないものが多いからと見られます。

二十三番　は石の割合で高額要等の発生は、いずれも、ないものであり、老衰や早産による発育異常などの原因は、はっきりしないものが多いからと見られます。

二十四番　は石の割合で高額要等の発生は、いずれも、ないものであり、老衰や早産による発育異常などの原因は、はっきりしないものが多いからと見られます。

五ヵ年間の病気の動き

過去五ヵ年間における病気動きを見るため、下表のように昭和二十七年度と三十一年度の病類別の受診件数の比較を、衛生行政や国保の給付費額、保健施設等の面から関連づけて見ると、次のような点が考えられます。なおこの調査は昭和二十七年度六万六千二百五十件、三十一年度十三万一千二百五十件をそれぞれ一〇〇として年度の中における割合で比較したものです。

結核系疾患では○・四％減つていますが、検診の励行や保健婦の患家管理等の下、漸次減少の傾向にあります。

循環器病は非常に多くなって、何とかして防止しなければならないことですが、医師会が行っている無料血圧測定などの機会を有効に活用し、適切な指導を受けて頂きたいのです。七番は昨年の感冒の大流行が大きく影響していると思われます。

腸管は二十九年度より総義歯の給付等で入院が多くなり、利用率も多くなり喜ばれています。なお腸病は増加しましたが、一番関連のある九番の胃病が減っていることは、この理由も考えられます。これは他の部位と並び例していると思い頂きたいのです。七番は腸管の疾病は従来細菌が多いといわれていた井戸水から水道に切替えられたため、大腸炎、腸炎等のように水に関した疾病が激減しつつあることは統計であきらかであります。

皮ふの疾病は、流行性、流行性合併症、伝染性膿痂疹、癌病、精神病、寄生虫病、其ノ他

多かつた事故疾病

市保険料の一カ月分を食う

各国の注意力、心がけ次第では防ぐことの出来る疾病で、この欄に総合病院の金高は実に金市保険料の一カ月分に近い額で交通機関等の発達に伴い恭々各人の社殺が要望されます。

ふえて来た循環器病

水道普及で激減の腸疾患

ふえて来た精神病

死亡の多い割に給付少いガン

文化病の視があり、また、入院を伴うため件数の割に金高が高くなっています。

十九番の癌病　其他癌腫瘍をふくむが、御網は神に注目に値するもので、いずれも不注意に起因するものが多く、最近の「癌」は予防法が発見されたため、大腸炎、腸炎等のように水に関した疾病が激減しつつあることは統計であきらかであります。

妊娠　分娩、流産等合併症が若干増加しています。これは病気がふえたというよりもむしろ一般の衛生思想の向上と、保健課と保健所で行っている結核診断等により異状を発見され治療を奨められた人と、従来は「ツワリ」（悪阻）は当りまえ位に考えて受診しなかった人が、受診することは結核診断等により、ますます多くなったものと考えられます。

皮ふの疾病は下表に示す通り金額に比べて件数の多いのが目立ちます。これは、保健課の家族などで医療費負担が少いことから気がふえたというよりもむしろ一般の衛生思想の向上と、保健課と保健所で行っている結核診断等により異状を発見され治療を奨められた人と、従来は「ツワリ」（悪阻）は当りまえ位に考えて受診しなかった人が、受診することは結核診断等により、ますます多くなったものと考えられます。

寄生虫　十九番の中で最近の「癌」は予防法が発見されたため、大腸炎、腸炎等のように水に関した疾病が激減しつつあることは統計であきらかであります。

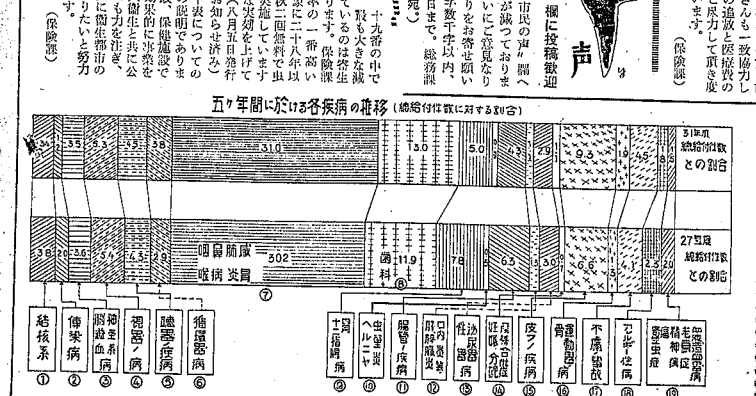
声

"声"欄に投稿歓迎

最近"市の声"欄のご投稿が減っておりますが、大いにご意見なり、ご要望なりを寄せ頂いて、ご参考にさせ頂きます。（宛先千字以内、毎月十五日まで、総務課内広報保係宛）

五ヵ年間に於ける各疾病の推移

（総給付費に対する割合）



明間 土橋 吉田 横鞭 宮山 佐藤 栗原 小川 石井 昆徳 成田 土沢 南辺 渡澤
鉄太郎 太郎 寅一郎 源吾 新治 政治 祐一 安郎 徳栄 信意 勝男 耕一 徳平 清松